

日吉津村 地方創生総合戦略

住むなら日吉津！
子育てなら日吉津！！
～待機児童ゼロ～

日吉津村役場
総合政策課

地方創生は、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的としています。

日吉津村地方創生総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条に規定する市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略に該当する計画として策定し、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略（平成26年12月27日閣議決定）に規定する地方人口ビジョンとしての内容を含みます。

日吉津村地方創生総合戦略の基本目標

2060年に3,600人の人口を目指します。参考）R2.4.1現在3,520人
4つの目標で総合戦略を推進しています。

1. 移住・定住支援（住むならひえづ！）

2. 子育て支援（子育てなら日吉津！！～待機児童ゼロ～）

3. 雇用支援（仕事づくり！）

4. 地域づくり・地域連携（元気なむらづくり！）

基本目標のKGI ～数値目標(令和2年度)～

1. 住むなら日吉津！

＜基本目標＞移住・定住により戸建て住宅を増やし、人口を増加させる。

指 標	数値目標
人口を増やす	3,550人を突破

2. 子育てなら日吉津！！

＜基本目標＞子育て施策を充実させ、子育てしやすい環境をつくる。

指 標	数値目標
待機児童数	ゼロの継続
出生率	1.7以上
小学校入学者数	30人以上

3. 仕事づくり

＜基本目標＞事業所・農業・企業の支援を通じ、雇用を創出する。

指 標	数値目標
村内就業者数の増加	2,220人（H26）→ 2,330人

4. 元気なむらづくり！

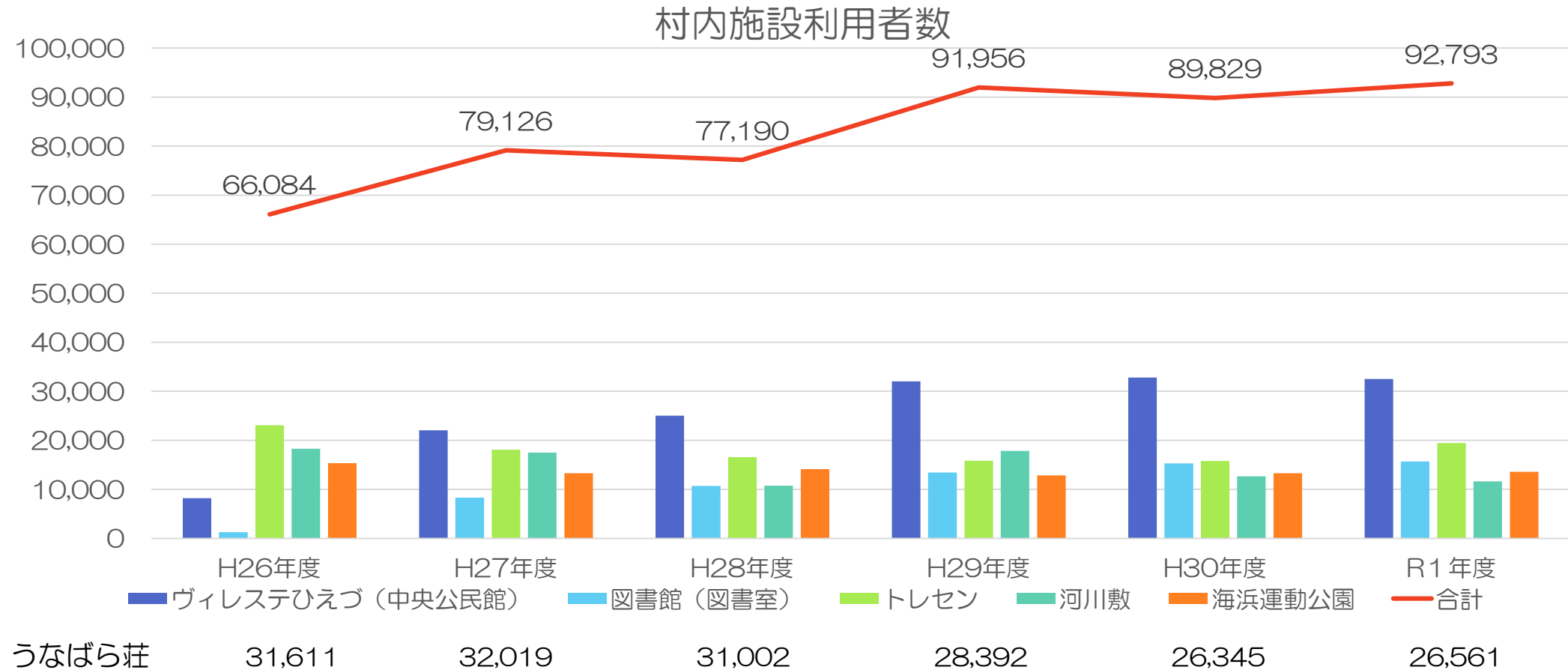
＜基本目標＞むらづくり・情報発信・暮らしの支援及び広域連携により、元気で安心して暮らせるむらをつくる。

指 標	数値目標
新施設（ヴィレステひえづ）の利用促進	利用者 旧施設利用者の 4.0倍
健康寿命の延伸	男65.4歳、女66.6歳（H26） →男女とも70.0歳

うなばら荘を中心とした連携推進事業(総務課)

数値目標 (KPI) : 村内施設の利用者 4割増

内容 : うなばら荘を中心に村内施設の利用促進を図る。



地域の魅力発信！ 移住定住の促進【総合政策課】

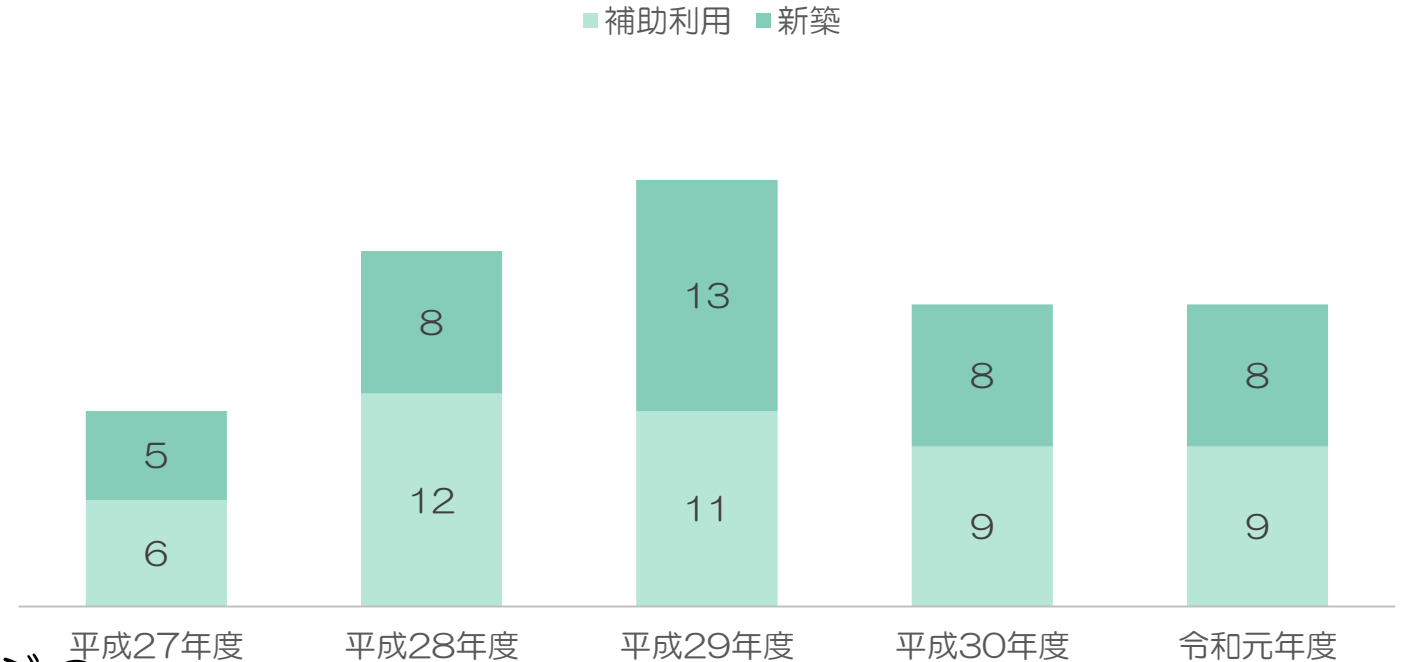
基本目標：住むなら日吉津！

- 新規住宅地の確保をし、ホームページで土地情報を発信を行った。
- 国道沿道への商業施設誘致 1 企業
🏠 宅地を確保したことにより、新築数が増え、むらのにぎわいに繋がった。

基本目標：元気なむらづくり！

- 地域の魅力発信のために、ホームページのリニューアルや、村のパンフレットを作成。
🏠 ホームページをリニューアルしたことに伴いアクセス数も増加傾向。

日吉津村の新築件数



日吉津村新築住宅建設借入利息助成事業

新築住宅を取得された方に、借入利息の一部助成を行っています。当該新築施引用住宅購入のために、借入した資金の年末残高に係る利息に対し、年間上限30万円とし、3年間助成します。

健康寿命延伸事業【福祉保健課】

村民が心身ともに健康で活動的な生活が継続できることを目指し、健康寿命と平均寿命の差を縮めるためにさまざまな取組を推進する。

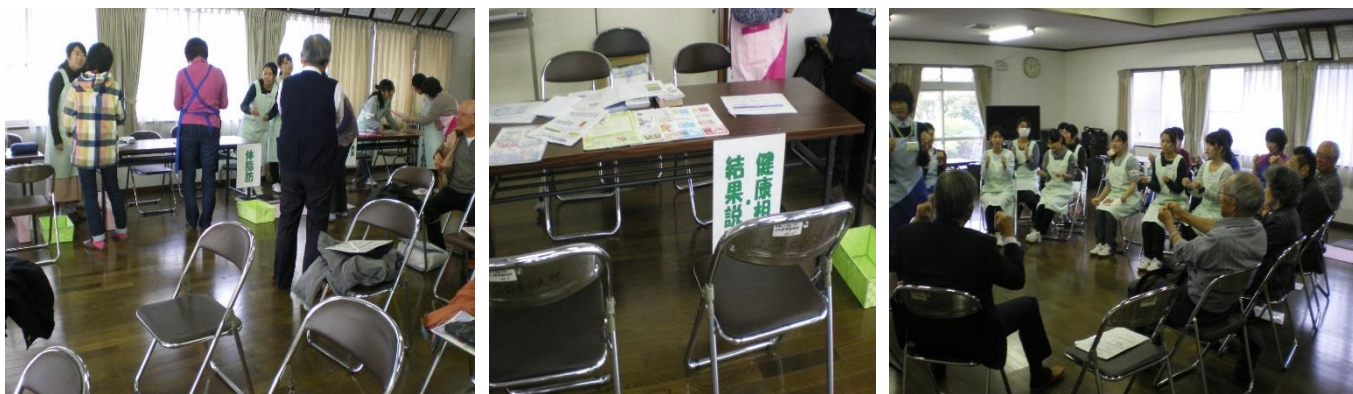
○事業：まちの保健室（平成28年度から実施） ※健康ポイント対象事業です

○目的：村民が自らの健康状態を把握することで健康意識を高め、自主的な健康づくりを推進する。

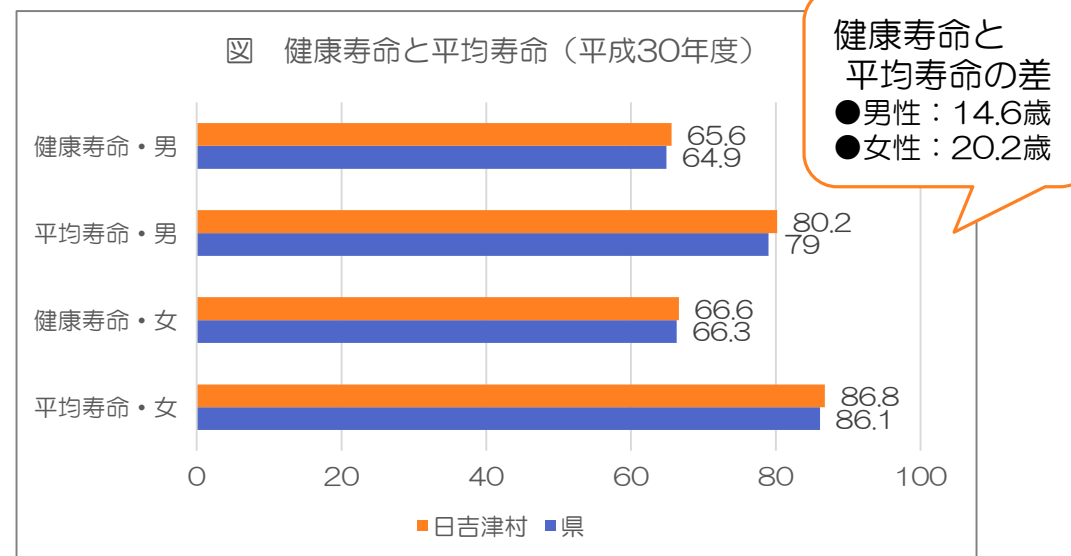
○内容：健康に関する講話、健康チェック（体組成測定・血管年齢測定等）、健康相談、元気もりもり体操（ストレッチ編）の普及啓発を実施。

※健康ポイント事業：健診や村が実施する健康づくり事業に参加すると健康ポイントがたまります。

健康ポイントは商品券と交換できるので、楽しみながら健康づくりに取り組むことができます。



各自治会公民館やヴィレステひえつで、まちの保健室を開催しています。



農業の担い手支援事業【建設産業課】

数値目標（KPI）：認定農業者 5名（法人） 認定新規就農者 5名

内容：農業の担い手に対し、営農に係る知識高揚機会の確保等、必要となる支援を行う。

- 鳥取県農業農村担い手育成機構を通じ担い手へ農地を集積→R1年度末で通算429,617㎡

- 国、県補助金を活用した担い手支援

 - がんばる農家プラン

 - トラクター、コンバイン、きのこハウス等

 - 農業次世代人材投資事業

 - 新規就農者へ5年間運転資金を支援

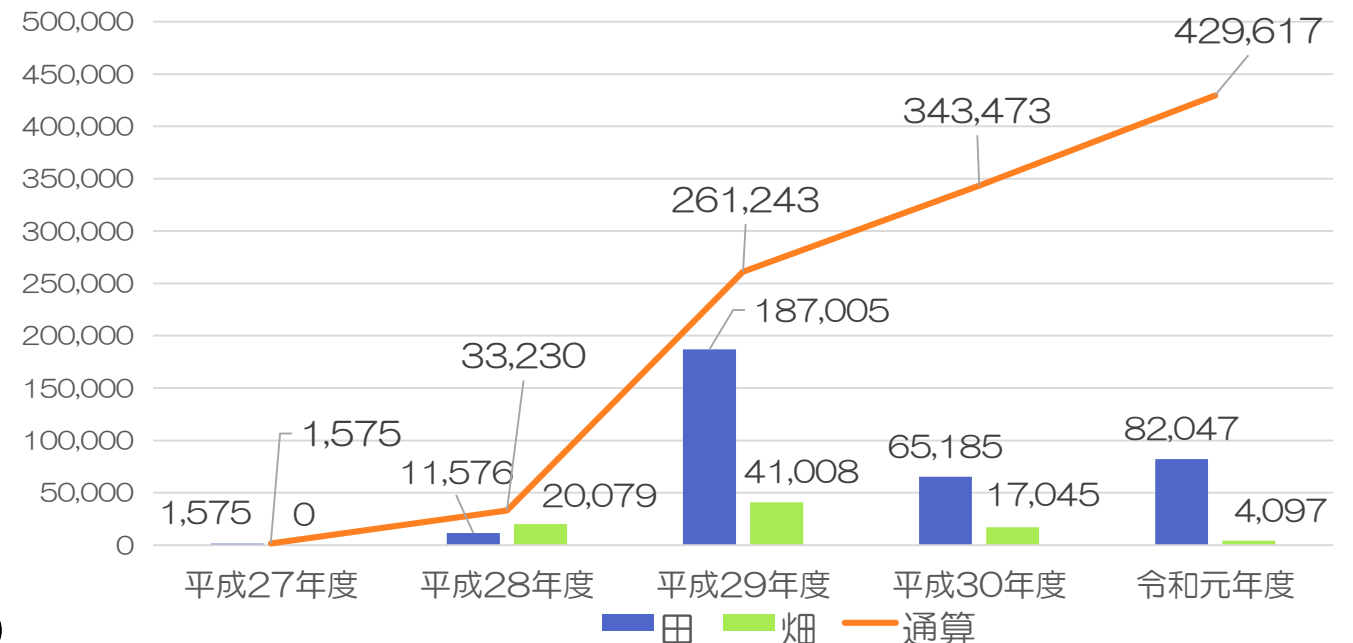
 - 親元就農促進支援交付金

 - 農家後継者が親の経営に従事しながら

 - 研修を行う場合に支援（認定農業者に限る）

- 村外担い手への農地集積→ R1年度末 田33,529㎡ 畑59,889㎡ 計59,889㎡

担い手への利用配分面積集計表（㎡）



小学生体力向上事業『目指せ！100m完泳！』【教育委員会】



日吉津小学校に在ると、卒業までに100mを泳げるようになる！



令和元年度 日吉津小 100m完泳状況 (人)

学年	3年	4年	5年	6年
児童数	33	29	30	26
完泳者数	5	11	24	23
完泳率	15%	38%	80%	88%

「卒業までに絶対100m完泳するぞ！」「早く100m泳げるようになりたい。」と、始業式・終業式の頑張り発表の中で子どもたちは発表している。学校全体の目標が、子どもたちの意識の中にも浸透している。

平成27年度から水泳専門員による児童及び教員の指導を実施。

児童の体力づくり・水中活動における水難事故防止を図る。

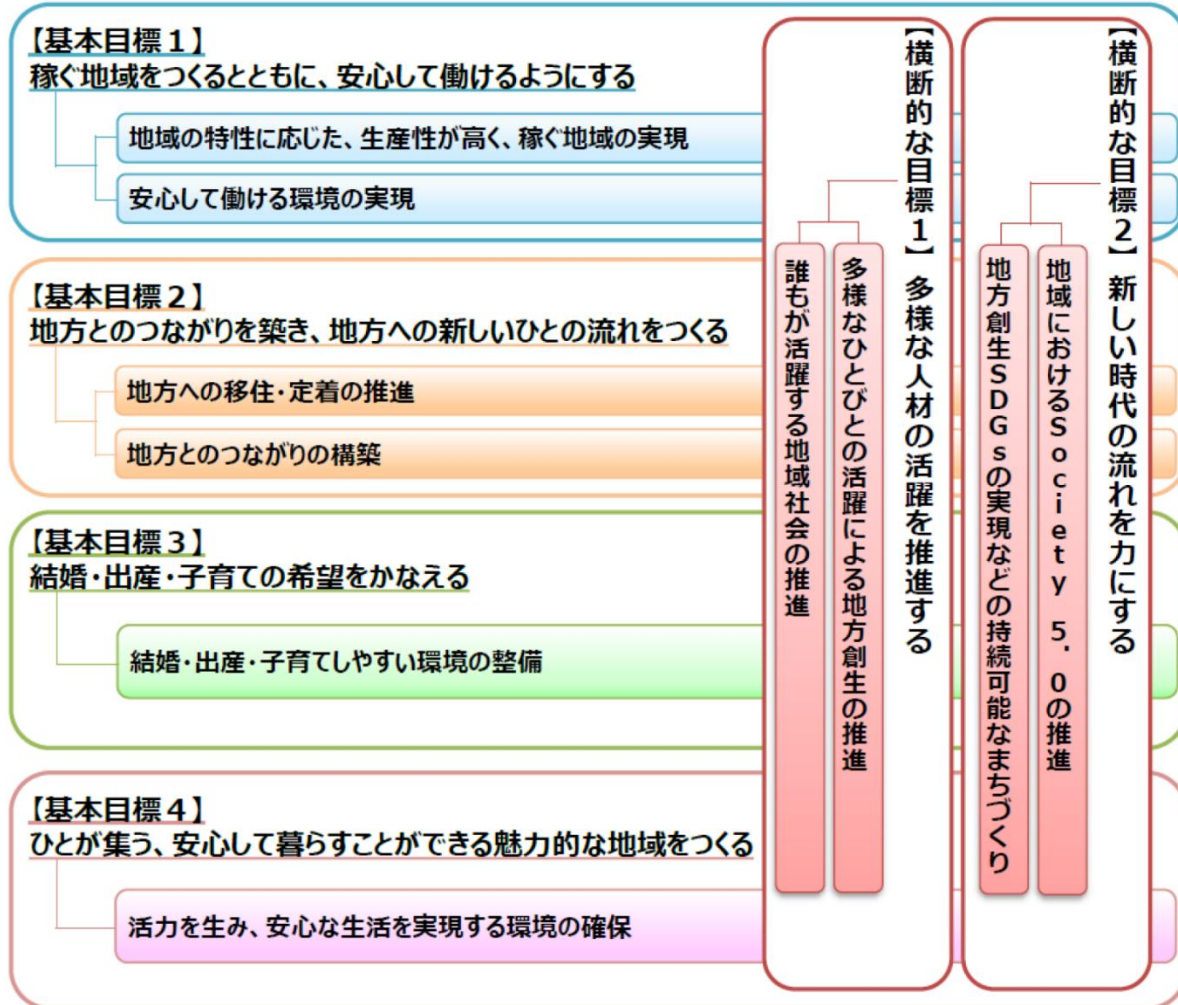
平成28年度からは外部指導者により基礎運動・陸上の指導を実施。

体育の授業「からだ作り運動」でも、体力・バランス・筋力を高める運動を指導。

日吉津村の今後の方向性について

～国の動向～

◆第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 (令和元年12月20日閣議決定)



◆地域未来構想20

「新しい生活様式」
等への対応

A) 社会的な環境整備

- ① 3密対策
- ② 発熱外来
- ③ キャッシュレス
- ④ 行政IT化
- ⑤ 防災IT化
- ⑥ 脱炭素社会への移行
- ⑦ スーパーシティ
- ⑧ 地域経済の可視化

B) 新たな暮らしのスタイルの確立

- ⑨ 教育
- ⑩ 医療
- ⑪ 地域交通体系
- ⑫ 文化芸術・スポーツ・コンテンツビジネス
- ⑬ リビングシフト
- ⑭ ハートフル

C) 新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進

- ⑮ 強い農林水産
- ⑯ 地域商社、観光地域づくり法人(DMO)
- ⑰ 物流の進化
- ⑱ 新たな旅行商品券・旅行券
- ⑲ 事業構造改革

◆第2期鳥取県総合戦略「鳥取県令和新时代創生戦略」

第2期戦略（計画期間：R2～R6年度）策定のポイント

- ◎ 持続可能な社会づくりに向けた基本的な視点として新たにSDGs（持続可能な開発目標）の概念を盛り込み、第2期戦略による地方創生の展開を通じて、SDGsのゴール達成を目指す。
- ◎ Society5.0の推進や関係人口など新しい人の流れの創出等の新たな時代の流れを捉えた取組により、真の地方創生の実現を加速させる。
[第2期戦略において新規・拡充する主な取組]
中山間地域の維持・活性化、Society5.0の実現に向けた技術の活用、関係人口の拡大、CO2削減など環境課題への対応、強靱な防災基盤の構築、健康寿命の延伸、多文化共生社会の実現 など
- ◎ 目指す地方創生の姿『とっとり創生による持続可能な地域社会の実現』の達成に向け、第1期戦略の成果をさらに発展させるため、「豊かな自然」「人々の絆」「幸せな時間」の基本方針を継続する。

○第2期戦略の基本方針

地方創生の目指す姿

とっとり創生による持続可能な地域社会の実現

地方創生の展開を通じてSDGsのゴール達成へ前進

基本方針1：豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取+ism
①観光・交流／②農林水産業／③エコスタイル

基本方針2：人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 鳥取+住む
①出会い・子育て／②人財とっとり／③支え愛

基本方針3：幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ 鳥取+rhythm
①移住・定住／②働く場／③まちづくり

合い言葉 「響かせよう トットリズム」

👉 日吉津村の今後の方針

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

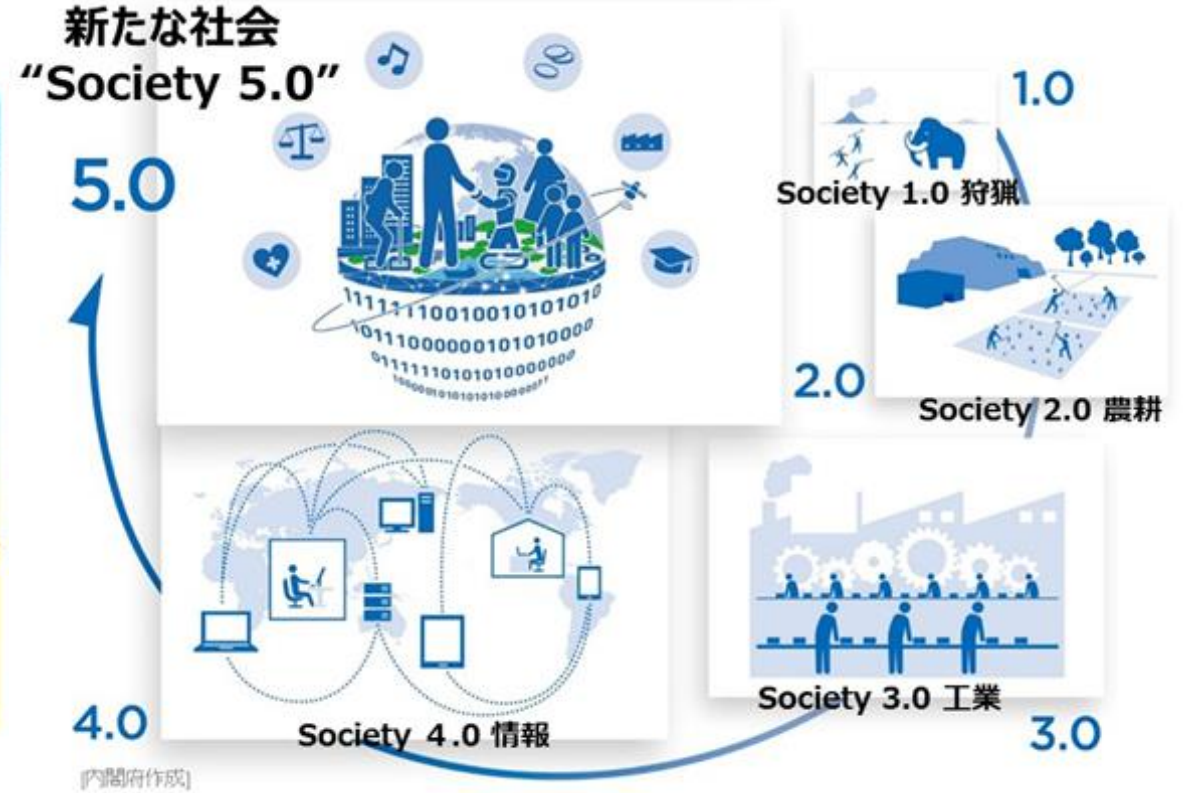
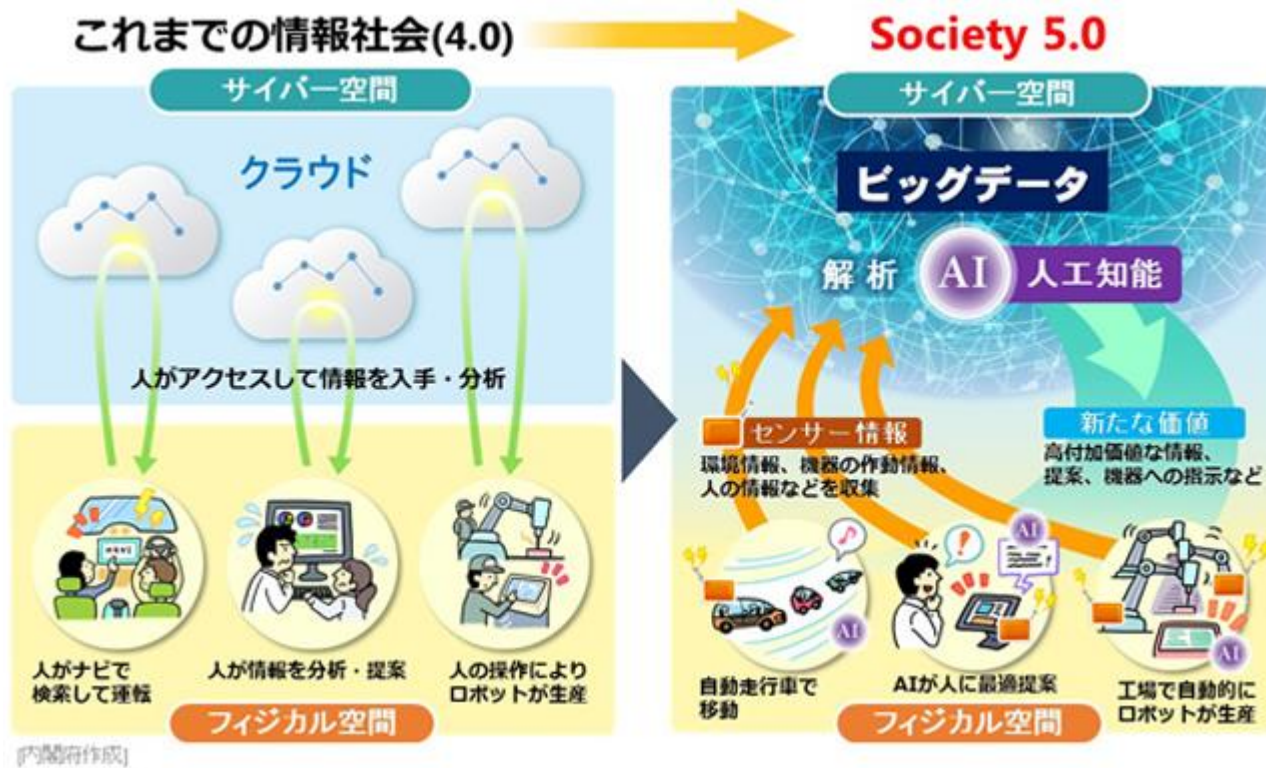
世界を変えるための17の目標



●持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは？

2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことなどを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本でも積極的に取り組んでいます。

👉 Society5.0



● Society5.0とは

IoTによりサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を連携し、すべての物や情報、人を一つにつなぐとともに、AI等の活用により量と質の全体最適をはかる社会のことである。

今後の策定スケジュールについて

作業／月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年KPI評価等 	<ul style="list-style-type: none"> 第1期事業総括(KGI) 第2期事業計画検討 	<ul style="list-style-type: none"> 第2期事業KPI等検討 	<ul style="list-style-type: none"> 第2期素案について検討 パブコメの実施(11月中旬) <ul style="list-style-type: none"> 意見反映 	<ul style="list-style-type: none"> 交付金の申請 	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画との整合性の確認 			<ul style="list-style-type: none"> 計画策定
行政	第1回会議(8月上旬)	KPI評価公表	第2回会議(9月下旬)	第2期事業検討	第3回会議(11月上旬)	申請書		第4回会議(書面開催)	
委員会									
村民					パブコメ				

地方創生総合戦略第2期策定に向けて

●先行取組：企業版ふるさと納税

●第2期 重点戦略：子育て複合施設の建設